

項目		説明
試料・情報の利用目的及び利用方法	研究課題名	胚細胞腫瘍患者に対する救済化学療法としての GOP 療法の検討
	研究対象者	胚細胞腫瘍と診断された患者さんのうち、2016 年 1 月から研究許可日の間に神奈川県立がんセンター及び下記の共同研究機関で GOP（ゲムシタビン、オキサリプラチン、パクリタキセル）療法を受けられた方
	研究目的	胚細胞腫瘍に対する化学療法については導入化学療法の BEP（ブレオマイシン、エトポシド、シスプラチン）療法、救済化学療法の TIP（パクリタキセル、イフォマイド、シスプラチン）療法の有効性が証明されている。しかし 3 次化学療法として確立された治療法はなく、少数の報告による治療法が治療法が行われているが、治療成績は不良である。 GOP 療法は胚細胞腫瘍の化学療法として主に欧州から有効性を示唆する報告はあるものの、本邦での報告は限られている。 今回 GOP 療法の効果を評価することで日本人における有効性、安全性を検討することを目的とした。
	研究方法	2012 年 1 月 1 日から 2025 年 5 月 1 日の間に当院および共同研究機関において GOP 療法が施行された方のカルテ情報を利用して研究を行います。
	個人情報保護	対象となる患者さんの診療情報には個人情報が含まれますが、氏名や住所などの情報を削り、容易に個人を特定できないように研究用の番号（識別コード）で管理します。個人と識別コードを照合できるようにする対応表を作成しますが、パスワードロックや鍵をかけて厳重に保管し、院外へ提供することはありません。
	研究期間	西 暦 2 0 2 5 年 6 月 9 日 ～ 西 暦 2 0 2 6 年 1 2 月 3 1 日
	利用又は提供を開始する時期	[X]総長が研究実施を許可した日 [_] 西暦 年 月 日頃（研究の進捗によって前後いたします）
利用する試料・情報の項目（チェック[X]が入った項目を利用します）	[_]試料:	[_]血漿、[_]血清、[_]全血、[_]末梢血から抽出した DNA、 [_]病理検体(具体的に記載: _____)、 [_]尿、[_]糞便、[_]唾液、[_]胸水、[_]腹水、[_]脳脊髄液、 [_]毛髪、[_]その他(具体的に記載: _____)
	[X]情報:	[X]診断名(臨床病期や分類、病理診断を含む)、[X]年齢、[X]性別、[X]既往歴、[X]併存疾患、[X]外来日・入院日・退院日、[X]臨床検査値、[X]放射線診断や超音波検査、内視鏡検査等の画像データ、[X]臨床所見・経過（予後追跡データを含む）、[_] ゲノムデータ、[_]看護記録、[_]その他(具体的に記載: _____)
試料・情報を利用する者の範囲	当センター	所属・氏名 泌尿器科 鮎瀬知彦（研究代表）
	研究責任者	
	共同研究機関および責任者	施設名・氏名 杏雲堂病院 腫瘍内科 河野 勤
	その他の機関	なし
試料・情報の利用停止および情報公開に関する窓口	施設名・所属・氏名・連絡先 神奈川県立がんセンター・泌尿器科・鮎瀬知彦・045-520-2222 利用停止のお申し出は 2025 年 12 月 31 日までをお願いいたします ただし、お申し出いただいた時にすでにデータが固定され、研究成果が論文などで公表されていた場合には、患者さんのデータを廃棄できない場合があります	